

【資料2-1】

(2) 令和6年度水道事業会計の予算について

水道事業

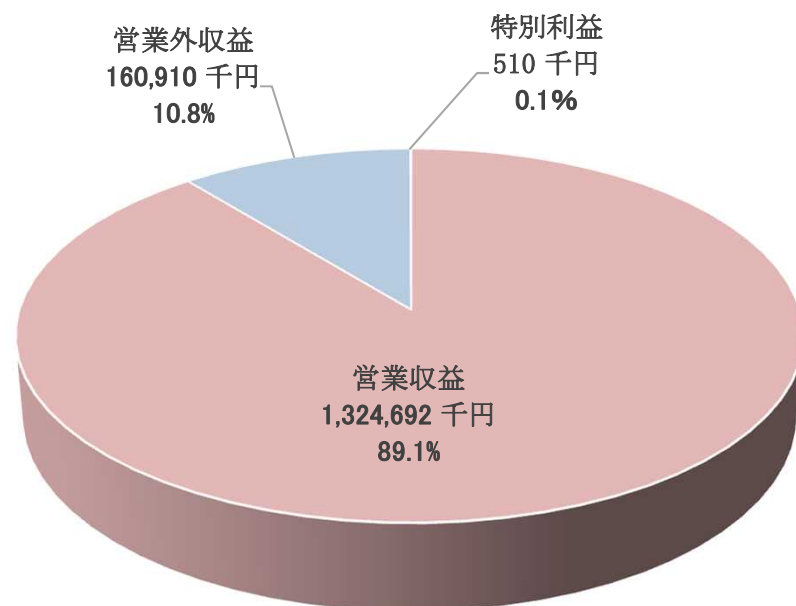
収益的収入（3条予算）

予定額 1,486,112千円

収益的支出（3条予算）

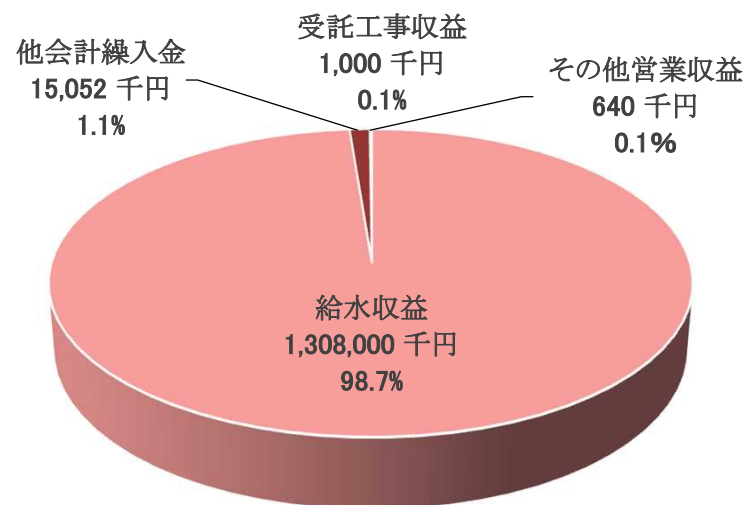
予定額 1,469,321千円

●収益的収入は営業収益・営業外収益・特別利益で構成されています。
収入の約9割を営業収益が占めています。



	令和6年度 予算額 (千円)
営 業 収 益	1,324,692
給 水 収 益	1,308,000
そ の 他 の 収 益	16,692
営 業 外 収 益	160,910
長期前受金戻入	155,738
消費税還付金	10
そ の 他 の 収 益	5,162
特 別 利 益	510
合 計	1,486,112

水道事業 営業収益の構成



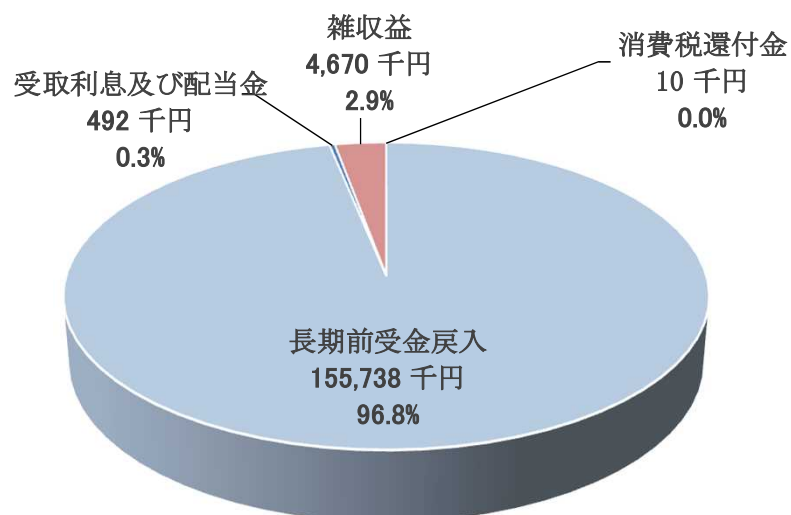
●営業収益

営業収益の約99%が水道料金となっており、次に消火栓の管理料である他会計繰入金となっています。

●営業外収益

営業外収益の約97%が長期前受金戻入となっています。

水道事業 営業外収益の構成



※長期前受金戻入・償却資産の取得または改良に伴い交付される補助金などについては「長期前受金」として負債(繰延収益)に計上し、減価償却見合分を収益化しているものです。

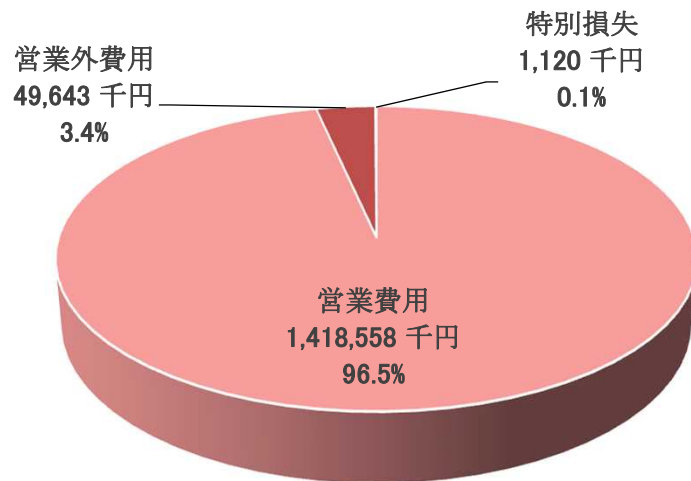
水道事業 特別利益の構成

	予算額(千円)
固定資産売却益	10
過年度損益修正益	500

●特別利益

特別利益は事業を展開していく上で通常発生しないもの、例外的に発生した利益を計上するものとなっています。

水道事業 費用の構成



●営業費用

営業費用のうち原水及び浄水費は約57%を占めています。そのうち、約77%は受水費(県からの水道水の購入費用)となっています。次に減価償却費、配水及び給水費、総係費となっています。

●営業外費用

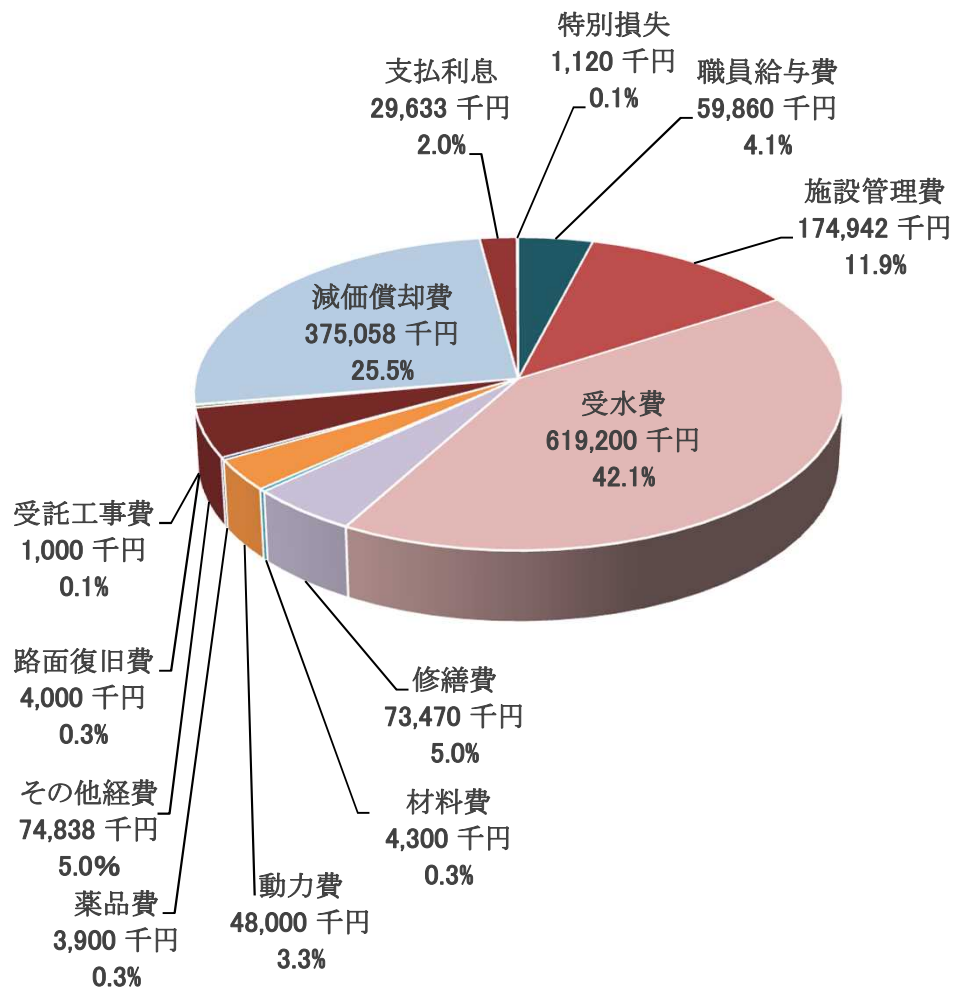
営業外費用のうち企業債支払利息は約60%を占めています。次に消費税納付費用が約40%を占めています。

●特別損失

特別損失は事業を展開していく上で通常発生しないもの、例外的に発生した損失を計上するものとなっています。

	予算額(千円)
営業費用	1,418,558
営業外費用	49,643
特別損失	1,120

水道事業 費用要素別構成



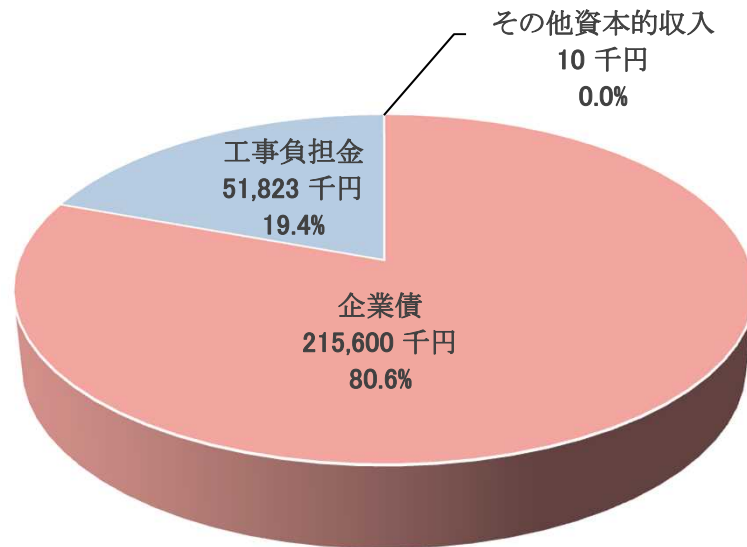
区 分	予算額 (千円)
職員給与費	59,860
施設管理費	174,942
受水費	619,200
修繕費	73,470
材料費	4,300
動力費	48,000
薬品費	3,900
その他経費	74,838
路面復旧費	4,000
受託工事費	1,000
減価償却費	375,058
支払利息	29,633
特別損失	1,120
合 計	1,469,321

水道事業

資本的収入 (4条予算)

予定額 267,433千円

水道事業 資本的収入の構成



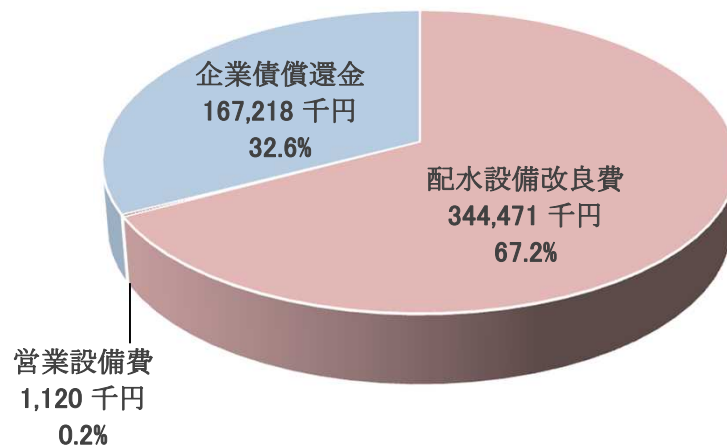
●資本的収入は企業債・他会計出資金・工事負担金・その他資本的収入で構成されています。

●資本的収入の内訳の大部分を企業債が占めており、次に水道加入申込金、土木建設課からの舗装工事負担金となっています。

	予算額(千円)
企 業 債	215,600
工 事 負 担 金	51,823
そ の 他 資 本 的 収 入	10

水道事業
資本的支出 (4条予算)
予定額 512,809千円

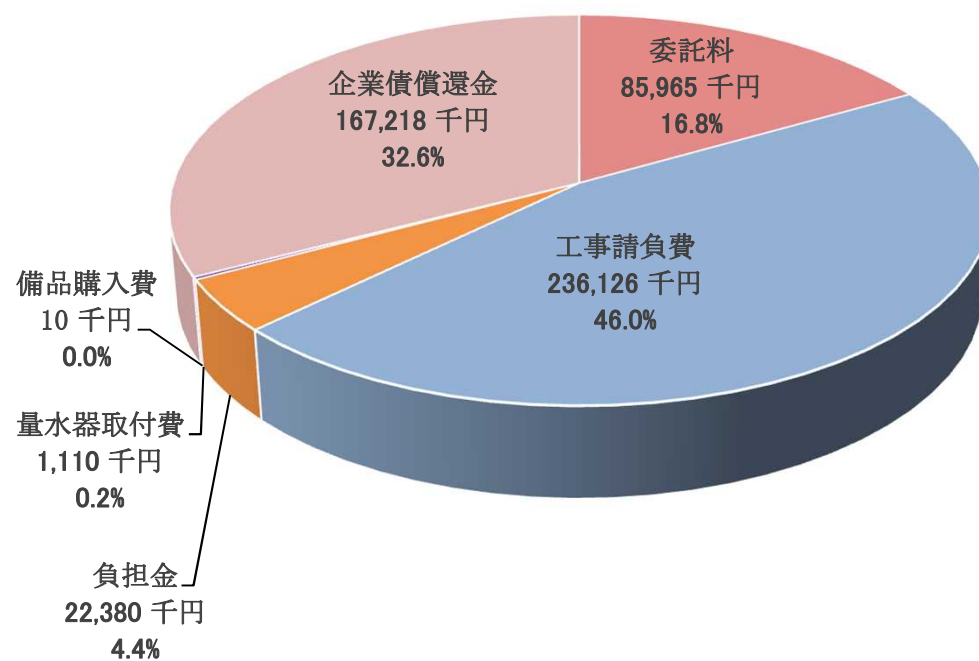
水道事業 資本的支出の構成



	予算額(千円)
配 水 設 備 改 良 費	344,471
営 業 設 備 費	1,120
企 業 債 償 還 金	167,218

- 資本的支出は建設改良費・企業債償還金で構成されています。
- 資本的支出の内訳は、配水設備改良費の工事請負費が大部分を占め、次に企業債償還金となっています。
- 資本的収入額が資本的支出額に不足する額については、消費税資本的収支調整額及び減価償却費等を原資とする損益勘定留保資金で補填することとなります。

水道事業 資本的支出要素別構成



区 分	予算額 (千円)
委託料	85,965
工事請負費	236,126
負担金	22,380
量水器取付費	1,110
備品購入費	10
企業債償還金	167,218
合 計	512,809

水道事業 企業債現在高の推移

(単位:百万円)

年度	平成 25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
年度末 現在高	2,578	2,611	2,620	2,729	2,954	3,074	3,139	3,212	3,228	3,399	3,489

年度末現在高

